

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
地域福祉の理論と方法Ⅱ Community Development Ⅱ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(社会福祉士国家試験受験資格取得 必修)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
中島 佳子	栄養棟3階	授業時に説明します。		授業中に指示します
授業の概要				
本講では、地域福祉の理論と方法Ⅰをもとに、地域福祉に係る法や制度・地域福祉計画について学習する。				
授業の目標				
①地域福祉に関わる法や制度を理解し、地域福祉計画の重要性を説明できるようにする。 ②社会資源の種類と活動内容を説明できるようにする。 ③地域福祉活動の方法を説明できるようにする。 ④居住地域の福祉活動を把握し、地域特性を習得できるようにする。				
授業の方法				
テキストと視聴覚教材、関連資料を使用した講義方式とする。 理解を深めるためにグループワークまたは個人ワークを取り入れることもある。				
学習の成果（学習成果）				
地域福祉について地域福祉計画をもとに、地域特性に応じた活動について分析することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス シラバスの説明			
第2回目	地域福祉に関わる機関と団体①			
第3回目	地域福祉に関わる機関と団体②			
第4回目	地域福祉の方法① コミュニティソーシャルワーク			
第5回目	地域福祉の方法② ケアマネジメント、ソーシャルサポートネットワーク			
第6回目	地域福祉のサービスと活動① ニーズ早期発見のためのサービスと活動			

第7回目	地域福祉のサービスと活動② ケアマネジメントの仕組みと活動	
第8回目	ビデオ学習「地域福祉とまちづくり」	
第9回目	地域福祉計画とその実態① 地域福祉計画とは何か	
第10回目	地域福祉計画とその実態② 地域福祉計画と地域福祉活動計画	
第11回目	地域福祉計画とその実態③ 地域福祉計画と地域福祉活動計画の実際	
第12回目	地域福祉計画とその実態④ 地域福祉計画の目標と評価	
第13回目	地域福祉に関わる法・制度① 地域福祉の政策	
第14回目	地域福祉に関わる法・制度② 地域と行政組織	
第15回目	まとめ 国家試験対策	
事前・事後学習	事前学習：テキストの該当ページを読んでくること。 事後学習：授業で学んだことを居住する地域に当てはめて、地域の課題を考えておくこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、明確な課題意識をもって授業に臨むことができる。
レポート	10%	ビデオ学習の後に感想レポートを作成する。評価Sは、授業の知識を活かし、コミュニティソーシャルワーカーの活動を具体的にイメージした上で感想が述べられていること。
調査報告書		
小テスト		
試験	60%	選択形式、穴埋め、記述問題等で出題し、知識及び内容の理解を確認する。記述式のS評価は授業で学んだ知識を用いて、エビデンスに基づき、自分の言葉で意見が述べられていること。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
「よくわかる地域福祉」上野谷加代子・松端克文・山縣文治／ミネルヴァ書房		
履修上の留意点・ルール		
私語、携帯電話の使用を禁止する。授業に関係のないもの（携帯電話、食べ物、飲み物、化粧品、手帳）はかばんにしまうこと。 配布資料のデジタル化禁止。他者に迷惑をかける行為があった場合は、退出させることがある。		